



# グアバにたくさんの思いを込めて

(有)アフロディア 代表取締役社長 西川 きよ氏



私は化粧品卸業を営んでいます。

美容業界には20年以上にわたって携わっています。起業したのも、私自身がかなり強い敏感肌で、あらゆる化粧品を試した結果、「自分が使いたいと思える、本当に信頼できる化粧品を取り扱いたい」との思いからでした。

2年がかりで、日本でもほとんど例のない、「自家農園で栽培から手掛けるオーガニックコスメ」を商品開発し、平成26年から販売をしています。父の農園で有機JAS認定を取得し、自家製グアバを自分たちの手で栽培し、オーガニックコスメの主原料としています。当社の「天海のしずくオーガニック」は、天然原料配合率がほぼ100%、うち、オーガニック由来成分が90%以上です。水は一滴も使用しておらず、オーガニックコスメとしてのこの配合レベルは世界的な認証機関であるエコサートの基準を大きく上回っています。開発にあたっては、高知大学土佐FBCでの800時間に及ぶ研究を行い、自家栽培グアバの美容有効成

分含有量が化学化粧品に匹敵すること、特に美白成分は一般的な美白剤の20倍の含有量であることなども検証いたしました。発売後はおかげさまで、多くのお客様からの支持を得ることができましたし、雑誌にも取り上げていただきました。「ナチュラル

「オーガニック」を謳う化粧品には、化学成分が含まれたものや外国産材料を中心としたものが多いなか、自ら原料を栽培する姿勢が評価されたのだと感じています。また、県外の方にとって高知は、さんさんと日が射すイメージがあるようで、「高知の農園産のグアバ」が原料であることが好

印象に映るようです。

「天海のしずくオーガニック」の都心部での販路開拓に勤しんでいるなか、特別支援学校の教師をしていた夫から、「退職後は障がい者就労支援施設を運営しようと思っている。」と切り出されました。夫は退職を間近に控え、教え子の行く末を案じたことでした。

夫婦で話し合い、グアバを栽培する自家農園を障がい者就労支援施設として利用することを決め、今年4月に「一般社団法人エンジェルガーデン南国 南国にしがわ農園」として、許可を取得して運営を

開始しました。夫、長男、次男が農園兼支援施設を運営し、私は農園で収穫されたグアバの果実のピュールや、グアバの葉で作った美容健康茶「有機土佐國グアバ茶」の販路開拓を担いました。施設はまだ、十分軌道に乗ったとは言えませんが、利用者が少しずつ定着し始めているところです。

私たちの農園と、栽培したグアバには、私の家族だけでなく、私たちの従業員、そして施設利用者の思いがこもっています。私たち夫婦は、いったん「これが正しい」と心に決めると突き進むタイプです。私の化粧品卸も、夫の農園も、器用に事業を運営することができません。それでも、私たちの商品やサービスを利用される方にとつての本当のメリットは何なのかを突き詰め、正しいと思うことを愚直に進めていきたいと考えています。

今後、天海のしずくオーガニックの販路を拡げていくにあたり、私は、多くの方々に農園を見ていただくと思っています。私たちの込めた思いが具現化された場所です。農園での日常の風景こそ、最大の付加価値になると私は信じています。



天海のしずくオーガニックラインナップ